

会 議 録

会議名	第22回（令和4年度第1回）東松山市地域公共交通会議					
開催日時	令和4年8月1日（月）			開会	午後2時00分	
				閉会	午後3時20分	
開催場所	東松山市役所本庁舎3階 全員協議会室					
会議次第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議 題 ・地域公共交通計画策定について ・デマンドタクシーについて ・市内循環バスについて 5 その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開	傍聴者数			2人	
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
委員出欠 状況	会長	高田 和幸	出席	委員	宮田 和広	出席
	委員	仲 雄裕	出席	委員	梁瀬 高志	出席
	委員	齋藤 隆行	出席	委員	仲條 靖子	出席
	委員	杉本 智之	出席	委員	関根 肇	出席
	委員	高原 昭	代理(藤田)	委員	森村 正寿	欠席
	委員	細野 桂一	出席	委員	桑原 泰之	欠席
	委員	北嶋 貴行	欠席	委員	中嶋 亮順	出席
	委員	大久保 勝子	出席	委員	五嶋 善明	欠席
	委員	戸森 健治	出席	委員	山崎 佑	出席
	委員	贅田 美行	出席			
事務局	市民生活部 部長	中嶋 和則	出席	市民生活部 次長	小澤 秀明	出席
	地域支援課 課長	山本 由香	出席	地域支援課 副課長	伊藤 嘉紀	出席
	地域支援課 主任	田中 翔太	出席			

1 開 会	地域支援課 山本課長
2 委嘱状交付	<p>贄田副市長より委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際十王交通株式会社 運輸部 主幹 梁瀬 高志 氏 ・ 国土交通省 関東運輸局 埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官 細野 桂一 氏 ・ 公益社団法人比企青年会議所 理事長 中嶋 亮順 氏 ・ 東松山市自治会連合会 会長 戸森 健治 氏 ・ 埼玉県 企画財政部 交通政策課 主査 山崎 佑 氏
3 あいさつ	高田会長
4 議 題	<p>(事務局)</p> <p>事務局職員を紹介。</p> <p>(事務局)</p> <p>次に、事前にお送りした会議資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1 東松山市地域公共交通計画策定について ・ 資料2 市民・利用者アンケートへのご協力をお願い ・ 資料3 デマンドタクシーについて ・ 資料4 市内循環バスについて <p>でございます。お手元に資料がない方はいらっしゃいますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきますが、その前に本日19名の委員のうち15名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、会議開催にあたる定足数に達していることを、ここに報告させていただきます。また、会議の議長は、要綱第4条の規定によりまして、会長がその任にあたるこ</p>

とになっておりますので、高田会長にお願いいたします。それでは、よろしくお願いいたします。

(議 長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

最初に、職務代理者を指名させていただきます。要綱第4条第3項の規定により、会長の職務代理者は会長が指名することになっておりますので、私から指名させていただきます。贄田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(贄田委員)

了承。

(議 長)

それでは、贄田委員よろしくお願いいたします。

続いて、会議録の署名委員を2名指名させていただきます。

宮田委員と、大久保委員にお願いしたいと思います。

会議録は、後日、調製のうえ、お持ちしますので、御確認の署名をお願いいたします。

次に、この会議は原則公開となっておりますが、傍聴の申し込みはありますか。

(事務局)

傍聴の申込は、2名でございます。

(議 長)

傍聴を許可することに御異議ありませんか。

(委 員)

異議なし。

(議 長)

それでは、傍聴の許可をいたします。事務局は、申込みをいただいた方

を入室させてください。

それでは、これより議事に入らせていただきます。次第にございますように、議題が3件となっております。

はじめに、「地域公共交通計画策定について」、事務局よりお願いいたします。

(1) 地域公共交通計画策定について

(事務局)

- ・委託契約締結について報告。
- ・補助金申請について報告。
- ・地域公共交通計画策定について資料1及び資料2により説明。

(議 長)

説明が終わりました。御質問や御意見はありますか。

(議 長)

資料2の市民アンケートについては、事前に事務局と調整をしてきましたが、まだ設問のボリュームがあるように見受けられます。市民アンケートについては委託契約によりコンサルタントが作成しているとのことですが、アンケートの調査結果をどのように分析し、計画に反映させていくかの調整はしていますか。

(事務局)

基本的な方向性については協議をしています。具体的な部分についてはこれから協議し調整していきます。

(議 長)

現状や課題を認識しているかどうかで、調査票の作り込みが変わってくると思います。コンサルタントは、東松山市の公共交通の特性についてどのように認識していますか。

<p>(事務局)</p> <p>鉄道、路線バス、市内循環バス、デマンドタクシーといった東松山市の交通モードをいかに適切につなぎ、将来にわたって維持していくかを検討する必要があると認識しています。</p>
<p>(戸森委員)</p> <p>アンケートの回収率ほどの程度を見込んでいますか。</p>
<p>(事務局)</p> <p>コンサルタントとの協議や、他自治体の回収結果より、回収率は30～40%を見込んでいます。</p>
<p>(齋藤委員)</p> <p>市民アンケートは無作為抽出とのことですが、居住地区等に偏りが出ることはありませんか。</p>
<p>(事務局)</p> <p>住民基本台帳より、居住地区等の偏りが出ないように抽出します。</p>
<p>(杉本委員)</p> <p>デマンドタクシーについて、利用方法やルールを理解していない利用者がいます。今回の市民アンケートにあわせて、利用方法等について再度周知をお願いできますか。</p>
<p>(事務局)</p> <p>市民アンケートの発送に当たり、デマンドタクシーと市内循環バスのパンフレットを同封し、周知を図ります。</p>
<p>(議長)</p> <p>地域公共交通計画はマスタープランとしての位置付けになるものですが、計画の期間は何年間を想定していますか。</p>

(事務局)

立地適正化計画の見直し時期とあわせ、6年間で想定しています。

(議長)

アンケートに当たっては市として長期的ビジョン展開することにより、若い回答者が将来をイメージしやすいように調査票を工夫する必要があると思います。自分で車を運転できなくなる将来をイメージできると、アンケートとしてより良いものになると思います。

(事務局)

記載については検討させていただきます。

(山崎委員)

資料2の12ページについて、利用したことがある人のみ③の満足度を回答するのでしょうか。

(事務局)

利用したことがある人は②に進み、利用したことがない人は③に進みます。利用したことがない方にも満足度を回答していただくことで、利用しない理由を分析します。

回答の誘導方法については、コンサルタントと調整し、回答者が回答しやすいように工夫します。

(戸森委員)

令和2年11月の活性化再生法の改正により、地域公共交通計画の作成が努力義務化されたとのことですが、東松山市の計画作成がこの時期になった理由を教えてください。

(事務局)

他自治体の状況調査や予算計上手順の都合上、このようなスケジュールになっております。

(議 長)

バス事業者においても利用者アンケートを実施しているかと思いますが、バス事業者から見て、こちらの調査票に不足している部分等がございますか。

(仲委員)

路線バスの調査項目については、必要なものは網羅できており、問題ないと思います。

(梁瀬委員)

6 ページの 10 に屋根、ベンチとありますが、それらは道路使用許可や安全管理の都合上難しいケースが多いです。よく利用者から出る要望としては、街灯の設置があります。弊社でも、ソーラー式ライトの設置を検討しているところがございます。そのような点も踏まえ、調査票の文言を検討いただければと思います。

(議 長)

バス事業者だけでなく、市としても利用者のニーズに合ったバス停のあり方について検討していただければと思います。

その他ありますか。

(議 長)

東松山駅前広場の利用しやすさについて、市民から声は上がっていますか。

(事務局)

駅前広場の所管は建設管理課になりますが、当課には利用しにくい等の声は上がっておりません。

(山崎委員)

資料 2 の 14 ページ、③の 1 の選択肢について、「利便性の高い」との記載

は必要でしょうか。「公共交通イコール利便性の高いもの」という誘導的な印象を受けてしまいます。

(事務局)

記載方法については、検討させていただきます。

(議 長)

その他ありますか。

(議 長)

アンケートは8月中旬までに内容を確定させるとのことですので、その他お気付きの点等ございましたら、それまでに事務局に御連絡をお願いいたします。

続いて、議題2「デマンドタクシーについて」事務局から説明をお願いします。

(2) デマンドタクシーについて

(事務局)

・デマンドタクシーについて資料3により説明

(議 長)

説明が終わりました。御質問や御意見はありますか。

(戸森委員)

登録者数の増加率について鈍化傾向との説明がありましたが、デマンドタクシーの利用者は高齢者が多いことから、既存の登録者数と市内の高齢化率等を考慮すると、増加率は下がっていくと思います。

デマンドタクシーの利用は基本的に市内に限ったものですが、資料3にあるとおり、メーター料金が4000円を超えることもあるのでしょうか。

(事務局)

運賃及び迎車回送料金の合計額がメーター料金となります。自宅等に迎えを呼び、長距離の利用となると、4000円を超えるケースもございます。

(議長)

タクシー事業者のみなさんにお聞きします。(2)のグラフを見ると、デマンドタクシーの利用件数はコロナウイルスの影響で4割程度減っていますが、タクシー全体として同程度減っているのでしょうか。

(仲條委員)

同程度減っています。

デマンドタクシーの料金改定と同年に、タクシー運賃の改定がありました。(5)のグラフで2000円台の利用割合が増えているのは、その影響もあります。

また、迎車回送料金が400円で初乗り運賃が500円のため、迎えを呼ぶと900円スタートとなります。そのため、1000円未満の割合は減ってきています。

迎車回送料金は一律400円なので、駅やタクシー事業所から離れた地域にお住まいの方にとっては改定前より安くなった印象を受けるかと思います。反対に、駅近辺にお住まいの方にとっては、迎車にかかる料金が以前よりも高くなったという印象があるかと思います。

また、以前よりも料金が高くなったため、利用を控えているという声も聞いています。

(議長)

具体的に、どのように利用を控えているのでしょうか。

(仲條委員)

買い物に行く頻度を減らすなどかと思います。

(議 長)

コロナ禍前はデマンドタクシーの利用が多く、一般利用を含めて予約が取りにくいことがあったかと思います。コロナ禍にあってはデマンドタクシーと一般利用の割合はいかがでしょうか。

(齋藤委員)

デマンドタクシーが利用可能な時間帯はほぼデマンドタクシーであり、一般利用は少ない印象です。

(仲條委員)

日中の利用目的はほとんどが通院や買い物です。そのような利用者は、ほとんどがデマンドタクシーとしての利用です。

タクシー運賃の改定、デマンドタクシーの料金改定、コロナウイルスの影響によりデマンドタクシーの利用件数が減少していますが、市として利用促進は検討していますか。

(事務局)

コロナウイルスが収束したら、利用促進について地域公共交通会議で協議していきたいと思います。

(杉本委員)

コロナウイルスワクチン接種のためにタクシーを利用する方が多くいますが、日曜日にデマンドタクシーが利用できず困ったとの声をいただいています。コロナウイルスワクチン接種に限定して、日曜日でもデマンドタクシーを利用できるよう検討していただけないでしょうか。

(事務局)

コロナウイルスワクチン接種会場への移動手段については、以前から健康推進課と協議をしていますが、現時点ではデマンドタクシーの利用を日曜日にも拡大することは予定していません。今後動きがありましたら、地域公共交通会議で協議させていただければと思います。

(議 長)

コロナウイルスワクチン接種に限定したデマンドタクシーの利用は、公共交通機関空白区域の移動手段の確保という、デマンドタクシーの本来の目的とずれてしまいます。すべてデマンドタクシーで対応となると、自治体の財政負担等の観点から、持続可能な公共交通が実現できなくなることが懸念されます。将来の東松山市の公共交通のあり方を、計画の策定と併せて協議していきたいと思えます。

(議 長)

その他ありますか。

ないようであれば、議題2については以上で終了します。続いて、議題3「市内循環バスについて」事務局から説明をお願いします。

(3) 市内循環バスについて

(事務局)

- ・市内循環バスについて資料4により説明

(議 長)

説明が終わりました。御質問や御意見はありますか。

(戸森委員)

少子高齢化が深刻化する中、市の財政負担等も考慮しながら、持続可能なサービスのあり方を検討して行ってほしいです。

(事務局)

今後、地域公共交通会議で協議しながら、地域にとって望ましい地域公共交通の姿について検討していきます。

(議 長)

コロナ禍前である、令和元年度のひと月当たりの乗車人数はどれくらいですか。

5 その他	<p>(事務局)</p> <p>平均約3400人です。直近の乗車人数を見ると、コロナ禍前の水準に戻ってきていると考えられます。</p>
	<p>(議長)</p> <p>市内循環バスは日曜日、祝日は運行していませんが、運休日の車両の活用については検討していますか。</p>
	<p>(仲委員)</p> <p>運休日の車両の活用については、現状検討しておりません。何かアイデアがありましたら、地域公共交通会議で協議させていただければと思います。</p>
	<p>(議長)</p> <p>その他ありますか。</p> <p>ないようであれば、議題3については以上で終了します。</p>
	<p>(議長)</p> <p>続きまして、その他に移ります。事務局から何かございますか。</p>
	<p>(事務局)</p> <p>その他として、3点報告いたします。</p> <p>1つ目に、市民アンケートについてです。</p> <p>本日御審議いただいた市民アンケートの調査票につきましては、皆様からいただいた御意見を反映させ、8月中旬の確定を目途に調整します。修正後の調査票案は、別途お送りさせていただきます。</p> <p>2つ目に、市内循環バスの要望についてです。</p> <p>市内循環バスにつきましては、平成29年度に唐子コース、大谷コースの2路線に見直し、それぞれのコースが1周1時間程度で循環できる、利便性を考慮した路程変更を行ったところです。</p> <p>路程変更後、停留所の追加について要望をいただいております。</p>

<p>6 閉 会</p>	<p>農林公園、ベルク東平店、森林公園中央口、医師会病院、いなほテラス、ビバモールへの乗り入れでございます。</p> <p>ここ3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、路程変更後の利用状況等の正確なデータがとれておりませんが、今後、いただいた要望については、本会議において協議、検討を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>3つ目に、次回の会議開催予定についてです。</p> <p>今回は2月の開催を予定しております。市民アンケートの調査結果等について御報告させていただく予定です。日程は改めて調整させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(議 長)</p> <p>その他について何かございますか。</p> <p>(議 長)</p> <p>地域公共交通会議においては、デマンドタクシーと市内循環バスの報告をいただいております。今後、路線バスやタクシーの状況についても情報提供いただくことを御検討いただきたいと思います。事業者の皆様、その際は御協力をお願いいたします。</p> <p>また、資料1の2ページに、地域公共交通計画の必要性について説明がございます。委員の皆様におかれましては、こちらを再度御確認いただき、より良いまちづくりに向けて連携、協力をお願いしたいと思います。</p> <p>市民生活部 中嶋部長</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和4年8月19日</p> <p>署名委員 <u>大久保 勝子</u></p> <p>署名委員 <u>宮田 和広</u></p>	